

- ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- 組み立てる前に電源を入れないでください。
- 照明器具の取付け及び修理は、必ず電気工事店等の専門家にご依頼ください。

⚠注意

照明器具を箱から取り出す際に、ペーパーシェードを傷つけないよう十分気をつけてください。本体を止めているストッパーを取り除き、本体を取り出してください。

組み立て終わるまで電源に接続しないでください。

⚠警告

火災の恐れがあります。不安定な場所で使用しないでください。器具を布・衣類・カーテン等で覆ったりしないでください。

Wo-Tum-Bu 1

デザイン：Dagmer Mombach
Ingo Maurer and team

光源：ダブルチューブハロゲン球 150W (E26) 調光器付



Wo-Tum-Bu 1

インゴ・マウラー 日本総代理店

StudioNOI
スタジオノイ株式会社

107-0062 東京都港区南青山 2-18-2
竹中ツインビル B wing 2F
Tel. 03-5843-0260 Fax. 03-5843-0270
studio-noi.com

<ペーパーシェードについて>

器具の和紙は天然の素材で作られたもので、まれに見られる表面のキズは、製造過程で生じたものです。ペーパーシェードは、伝統的な日本の織物の染色法に基づき（最高8段階の処理工程を要する）、その加工法は特許を取得しています。一見同じに見えても、実際にはひとつひとつ微妙に異なっています。

ペーパーを美しく保つには、次のような点にご注意ください。

- 湿気のある所での使用は避けてください。浴室、台所、その他湿気のある室内では使用しないでください。
- 直射日光の当たる場所や乾燥しすぎる場所での使用は避けてください。
- ペーパーシェードは傷つきやすいですが、必要があればそっと引っ張り伸ばすことができます（図①）。ペーパーを伸ばしすぎないでください。伸縮性が失われ、元の形に戻すことができなくなります。
- 「誤った」方向（折り目と反対の方向）にペーパーを折りたたまないようにしてください。繊維をいためることになります（図②）。

場合によっては、シェードが理想的な形になるまでしばらく時間がかかることがあります。表面に触れるとへこみができることがありますが、裏側から指でそっと押すと、へこみが消えて元通りになります。

△組み立て方法>

注意

組み立て終わるまで電源を入れないでください。

電球をソケットに入れ、保護カバー(1)を小さい穴を上にして重ね、3箇所をしっかりと留めます（図③）。

付属の保護リング(2)を保護カバーの上から通し、ビス(3)でしっかりと固定します（図④）。

延長ロッド(4)をロッドの先に差し込みます。

注意

延長ロッドのフック(5)とベース上のフック(6)が同じ方向を向くように入れてください（図⑤⑥）。

<シェードの取り付け方法>

傷つけないよう気をつけながらシェードを開梱します。

シェードには対角線上に一箇所ずつ穴が開いています。延長ロッドの先端についたフック(5)に一方の穴を通し、しっかりと固定します（図⑤）。

もう一方の穴を軽く持ってゆっくり下に伸ばし、下のフック(6)に穴を掛けます（図⑥）。

ペーパーシェードは、巻き込んで一端が外に出るように形作ってください（図⑦）。

シェードの形は、二つの穴のどちらを上にするかにより2通りの形ができます（“細め”と“太め”）。どちらの場合も保護カバーが見えないように取り付けてください。

<電球の交換>

⚠注意

電源を切り、完全に器具が冷めてから行ってください。電球は素手で触らないでください。

ペーパーシェードを外すか、片手でシェードを開き、電球を交換してください。

<クリーニング>

⚠重要

シェードのお手入れには、必要に応じて軽い毛はたきや絵筆を使用してください。濡れた布やスポンジ等は絶対に使用しないでください。金属部分は乾いた布で拭いてください。

